

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	災害対策みんなで安心、公共下水道の防災整備(防災・安全)																	
計画の期間	平成22年度	～	平成26年度	交付対象	藤枝市													
計画の目標	災害時の減災を目的に、下水道が最低限有すべき流下機能や処理機能を確保する。																	
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 地震対策の推進。浄化センター施設の耐震化率を0%から30%に増加させる。 管路の長寿命化策定率を0%(H22当初)から59.1%(H27末)に増加させる。 浄化センター老朽化施設の改築更新率を90%(H22)から100%(H26)に増加させる。 浄化センターの送風機設備整備率を56.3%(H22当初)から65.6%(H26末)に増加させる。 藤枝処理区長寿命化計画による老朽施設(管路・マンホール蓋)の改築更新率を管渠27.7%とマンホール蓋30.5%に増加させる。 																	
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考											
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)												
① 本整備計画対象施設(浄化センター水処理系)における耐震化率 耐震化・減災対策が行われている棟数/本整備計画対象棟数				0.0%	0.0%	30.0%												
② 下水道老朽管路長寿命化計画の調査・改善計画策定率 調査管路/調査対象管				0.0%	0.0%	59.1%												
③ 浄化センターの老朽化により、改築・更新すべき施設数のうち、改築更新された施設数の割合				90.0%	100.0%	100.0%												
④ 藤枝処理区長寿命化計画による老朽施設(管路・マンホール蓋)の改築更新された割合 (管路の長寿命化対策実施済延長/藤枝処理区管路長寿命化対策延長)(m) (マンホール蓋の長寿命化対策済箇所/マンホール蓋の長寿命化対策箇所)(個)				0.0%	0.0%	27.7%												
				0.0%	0.0%	30.5%												
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,573 百万円	A	1,573 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0%								
○事後評価の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期													
環境水道部内で評価を実施した					平成27年10月													
					公表の方法													
					藤枝市ホームページ													
事後評価																		
1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	水処理	改築	計画的な耐震対策のための検討	耐震診断、資料作成 1式	藤枝市						30	○	
1-A-2	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	水処理	改築	藤枝市浄化センター地震対策事業	水処理施設の耐震化	藤枝市						196	△	H28
1-A-3	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	汚水	改築	藤枝処理区管路長寿命化計画策定	藤枝処理区長寿命化計画検討	藤枝市						70	○	
1-A-4	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	汚泥処理	改築	藤枝市浄化センター改築更新	汚泥処理設備更新	藤枝市						280	○	
1-A-5	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	水処理・汚泥処理	改築	藤枝市浄化センター長寿命化計画策定	藤枝市浄化センター長寿命化検討	藤枝市						18	○	
1-A-6	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	水処理・汚泥処理	新設	藤枝市浄化センター改築更新	水処理施設更新 処理能力 10,775m ³ /日	藤枝市						954	○	
1-A-7	下水道	一般	藤枝市	直接	藤枝市	汚水	改築	藤枝処理区老朽管等対策事業	管路及びマンホール蓋の長寿命化対策及び更新	藤枝市						25	△	H29
合計																1,573		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗 状況	備考
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

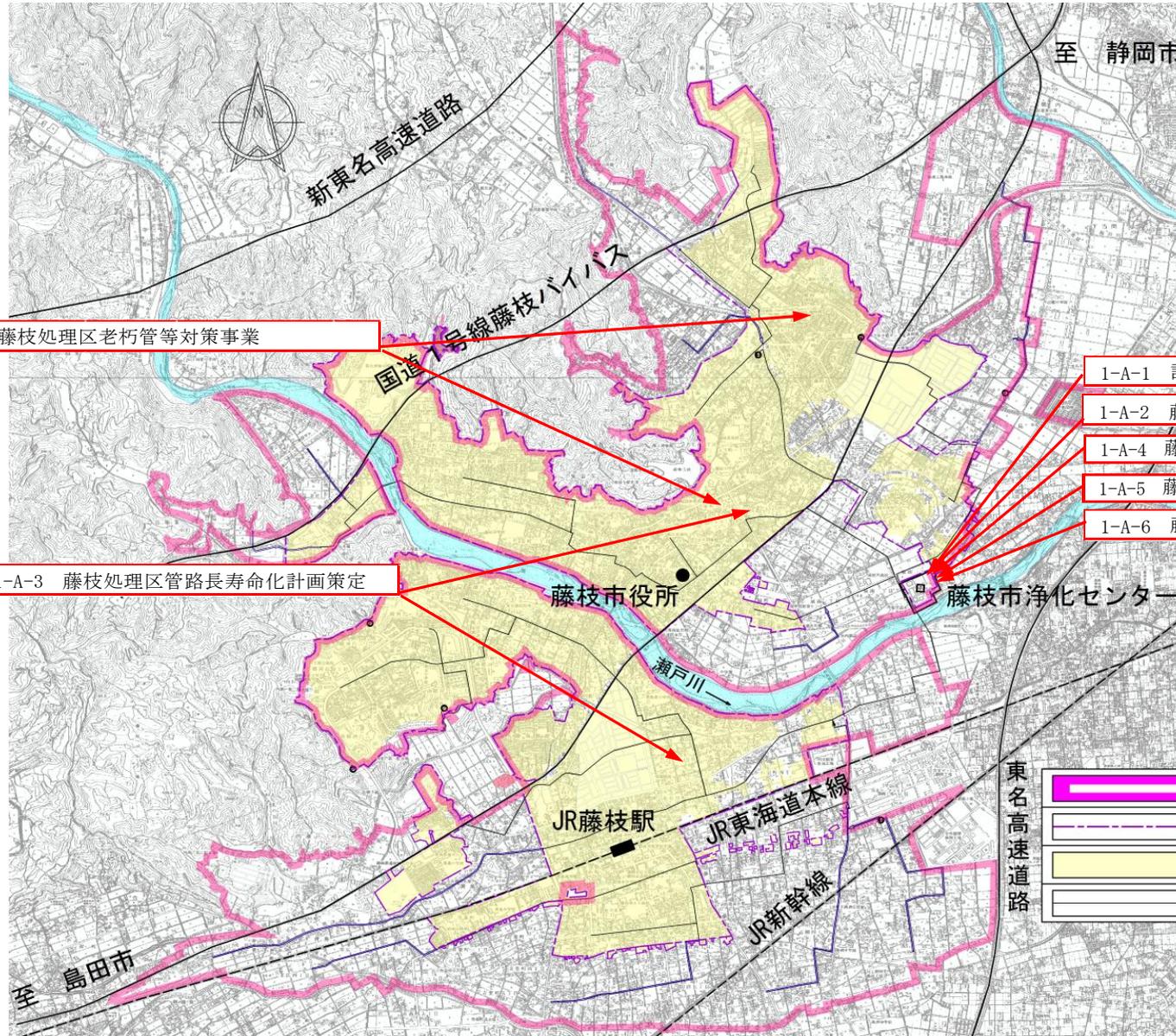
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 全体としてほぼ目標を達成することができた。これにより老朽化した管渠施設の改築更新による長寿命化が計画的にすすみ、管渠の損傷等による道路陥没や管路閉塞等による事故を未然に防止及びライフサイクルコストの最小化を図ることができた。 浄化センターにおいては設備中心とする改築・更新を実施することにより、適正な機能維持を確保することができた。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① (浄化センター耐震化率)	最終目標値	30%		目標値と実績値に差が出た要因	・管路調査の結果、緊急度の高い管路施設の改築・更生を優先する必要が生じたため、計画どおりの事業費が確保できず、耐震化の施工時期を見直した。
		最終実績値	0%			
	指標② (管路長寿命化策定率)	最終目標値	59.1%		目標値と実績値に差が出た要因	・人件費等の上昇による当初想定以上の調査費の高騰、及び計画通りの予算確保が困難で目標に比べ実績が下回った。
		最終実績値	46.6%			
	指標③ (浄化センター改築更新された施設数の割合)	最終目標値	100%		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%			
	指標④ (管路施設改築・更生の割合)	最終目標値	管路 マンホール蓋	27.7% 30.5%	目標値と実績値に差が出た要因	・管路調査の結果、緊急度の高い管路施設の改築・更生を優先したため。
		最終実績値	管路 マンホール蓋	29.2% 31.6%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・ 今期計画で最終実績値0%となった指標①浄化センターの耐震化率については、平成27・28年度の全体計画で目標値の30%を達成する予定である。
- ・ 今後も、浄化センターや既存管渠について長寿命化計画を策定し、計画的な改築等に努め、災害に強く安全・安心、快適な暮らしを実現するための、下水道環境の整備と公共用水域の水質保全を図っていく。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	災害対策みんなで安心、公共下水道の防災整備 (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度	交付対象	藤枝市



1-A-7 藤枝処理区老朽管等対策事業

1-A-1 計画的な耐震対策のための検討

1-A-2 藤枝市浄化センター地震対策事業

1-A-4 藤枝市浄化センター改築更新 (資源循環形成)

1-A-5 藤枝市浄化センター長寿命化計画策定 (水質保全)

1-A-6 藤枝市浄化センター改築更新

1-A-3 藤枝処理区管路長寿命化計画策定

凡 例

	全体計画区域
	事業計画区域
	整備済区域
	既設污水幹線